

退任のご挨拶

令和二年七月一日着任させていただいてから、もう六年経ち、本年六月末で退任をいたしました。

この六年間は、新型コロナウイルス感染症に振り回されたことと、令和六年元日に起きた、能登半島地震が頭に強く残っています。コロナ禍では、今迄行われていた行事の中止や縮小、日々の活動にも制限をかけざるを得ませんでした。現在に於いても感染対策には注意を払って継続しておりますが、日々、クラスターが起きないよう祈りつつ職務にあたっていたことが思い出されます。また、能登半島地震では能登方面で震度六～七、金沢でも五強を観測し、今迄経験したことのない揺れで、災害の甚大さに何をすべきか戸惑うばかりでした。県外の同一協議会施設より県内受災施設へ迅速に支援物資を届けていただき、その後も復旧に向けてご支援、ご協力をいただけたことは大変心強く感じました。日頃からの関係各位との連携づくりの大切さを痛感した次第です。

私は民生委員、地区社協活動は長く続けてきましたが、実際に施設の中で働くのは初めてのことで、皆様に支えていただき六年間大過なくすごせたことに深く感謝いたしておりますし、今の社会に於いて救護施設の役割の大切さを改めて認識した思いです。

最後になりますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げるとともに、地域に根差し、三谷の里ときわ苑の理念に基づいて社会貢献を進めていかれることを願っています。

長い間本当にありがとうございました。

令和八年七月

高野　善一

就任のご挨拶



苑長　吉本忠則

今年七月一日より前任の高野善一氏の後を引き継ぎ、この伝統ある三谷の里ときわ苑の長に就任いたしました。高野氏におかれましてはその在任期間中の大部分を前代未聞の「コロナ禍」に対応するために、文字通り奮闘を続けて来られましたその御苦労に対しまして、改めて深く敬意と感謝の意を捧げたいと思っております。

さて、ときわ苑を巡る社会情勢につきましては、少子高齢社会となり、それに対応するために社会福祉制度が目まぐるしく変化してきております。加えて原油高をはじめとして物価高騰の影響が顕著に表れてきており、様々な点で施設運営に苦慮するようになってきました。

幸いなことに、職員の皆さんが毎日元気一杯に懸命に取り組んでいただいており、非常に心強く、頼もしく思っております。

この施設は民生委員の先輩方が、自分たちで考え、自分たちが率先して行動を起こして作り上げてきたという栄えある歴史があります。私もその歴史の重さは重々承知しておりますが、皆様方からのご理解とご支援をいただいて伝統を守り続けて[illegible]しくお願い申し上げて就任のご挨拶とさせていただきます。

令和八年度 事業計画

七年度、施設運営の安定と維持、また、六年度の個別支援計画義務化にみる、支援体制のさらなる強化を目指しながら事業運営を進めてきました。しかしながら、慢性的な人材不足、利用者の高齢化・重度化、生活課題の複雑化などにより、支援内容の見直しや制度への対応が必要とされ、また、救護施設としてのセーフティネット機能を維持しつつ、地域の生活困窮者支援に積極的に関与する役割が求められる中で、事業実施について課題も多いように感じられました。経営面では物価高騰の影響が大きく、コスト削減や設備更新の計画的実施が重要課題となっています。以上を踏まえ、八年度事業計画を策定しました。

重点施策

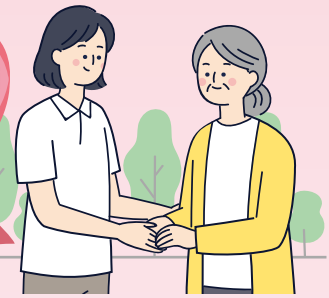
1 人権保護と利用者サービスの充実
- 個別支援計画の作成・実践を徹底し、質の高いサービス提供
- 施設内診療や多職種協働により疾病の早期発見・予防を強化
- 虐待防止対策として研修の充実や苦情相談体制の拡充を継続

2 地域生活移行・定着支援の推進
- 居宅生活訓練事業・通所事業の充実により、社会復帰と地域定着を支援
- 就労支援や住居確保などの自立支援を強化し、関係機関との連携を深める

3 施設機能の強化・拡充
- 入所受け入れ態勢を強化し、緊急入所にも対応できる体制を維持
- 地域ネットワーク事業や交流事業への参加を進め、地域貢献活動を推進
- 一時生活支援事業や物資提供事業など、生活困窮者支援の充実を図る

4 経営基盤の強化
- 受け入れ態勢の強化と関係機関への周知により利用者在籍目標の達成を目指す
- 人材の確保・育成・定着を強化し安定経営を継続
- 就労支援・地域移行支援の推進により新設加算の取得を目指す
- 災害時の事業継続計画の見直しや同種施設との連携体制構築を進める
- 老朽化に対応する設備更新計画を策定し、コスト削減と業務効率化を推進

保護施設通所事業 実施レポート!



三谷の里ときわ苑では保護施設通所事業を平成30年4月より実施しています。定員は15名とし、今年度は9名の方が利用され、一人ひとりに寄り添いながら支援を行っています。

訪問サービス

月2回を目安に自宅訪問。体調・金銭管理や清掃状況などを確認し、必要な助言を行っています。必要に応じて、就労支援や受診同行、買い物支援を行うこともあります。



確認すること
- 体調　・金銭管理
- 清掃や生活環境の状況

など

通所サービス

個人差はありますが、月8回を目安とし軽作業を中心に実施しています。以前は食事提供を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症以降中止。送迎サービスも無料で行い、リハビリ器具をそろえ、体力維持・向上を目指した活動に取り組むこともあります。



その他

介護保険サービスや障害

社会資源を活用・連携しながら支援体制を構築しています。適当なサービスにつながった場合や、就労自立したケースでは支援終結となる場合もあります。



所感

事業開始から8年が経過し、改めてこの事業の重要性を実感しています

施設は生活保護制度の“生活扶助”と“自立の助長”という趣旨に則り、セーフティネット機能と循環機能の両輪を動かすシステムとしてこれら事業を担っています。そのなかで利用者には、施設退所を目的とするのではなく、「自分らしい地域生活を送ること」を目標に掲げていただき、支援しています。

退所者のなかには“自立度が高い”との評価から事業を利用しなかった方もいますが、事実、地域生活が困難になることもあるようです。「誰かに相談できていれば」と省察した際、相談できる社会資源・サービスとして救護施設の通所事業は有効であり、入所経験のない被保護者においても、活用いただけます。

地域移行加算も創設され、ますます“施設から地域”へという流れが加速するなかで、継続して安定した生活が送れるよう、これからもサービスの充実に努めてまいります。(担当・中島)



これからも地域での
安定した生活を
支えます!

貸　借　対　照　表

令和8年3月31日現在

三谷の里 ときわ苑

（単位:円）

資産の部				負債の部			
科　目	当年度末	前年度末	増　減	科　目	当年度末	前年度末	増　減
流動資産	149,309,842	225,767,637	-76,457,795	**流動負債**	57,519,077	138,594,066	-81,074,989
現金預金	146,900,497	155,736,887	-8,836,390	事業未払金	16,795,352	16,393,283	402,069
事業未収金	1,227,965	4,412,120	-3,184,155	その他未払金	17,976,000	101,768,700	-83,792,700
未収補助金	840,700	65,248,900	-64,408,200	1年以内返済予定設備資金借入金	1,663,200	1,663,200	0
未収収益	25,540	19,590	5,950	預り金	286,861	903,883	-617,022
前払金	315,140	350,140	-35,000	職員預り金	696,664	0	696,664
固定資産	995,157,308	973,897,711	21,259,597	前受金	45,000	45,000	0
基本財産	721,010,948	729,881,492	-8,870,544	賞与引当金	20,000,000	17,820,000	2,236,000
土　地	266,877,568	266,877,568	0	**固定負債**	3,354,600	5,017,800	-1,663,200
建　物	454,133,380	463,003,924	-8,870,544	リース債務	3,354,600	5,017,800	-1,663,200
その他の固定資産	274,146,360	244,016,219	30,130,141	**負債の部合計**	60,873,677	143,611,866	-82,738,189
建　物	7,951,501	5,301,162	2,650,339	**純資産の部**			
構築物	1,085,440	1,252,881	-167,441	**基本金**	461,121,584	461,121,584	0
機械及び装置	6,224,164	1,943,131	4,281,033	**国庫補助金等特別積立金**	254,593,924	277,980,422	-23,386,498
車輌運搬具	1,301,329	655,895	645,434	**その他の積立金**	191,300,000	171,300,000	20,000,000
器具及び備品	18,324,680	11,644,765	6,679,915	人件費積立金	64,000,000	64,000,000	0
有形リース資産	5,017,800	6,681,000	-1,663,200	修繕費積立金	28,500,000	28,500,000	0
ソフトウエア	2,667,446	4,963,385	-2,295,339	備品等購入積立金	98,800,000	78,800,000	20,000,000
投資有価証券	40,000,000	40,000,000	0	**次期繰越活動収支差額**	176,577,965	145,651,476	30,926,489
人件費積立資産	64,000,000	64,000,000	0	次期繰越活動収支差額	176,577,965	145,651,476	30,926,489
修繕費積立資産	28,500,000	28,500,000	0	（うち当期活動収支差額）	50,926,469	11,957,324	38,969,145
備品等購入積立資産	98,800,000	78,800,000	20,000,000				
その他の固定資産	274,000	274,000	0	**純資産の部合計**	1,083,593,473	1,056,053,482	27,539,991
資産の部合計	1,144,467,150	1,199,665,348	-55,198,198	**負債・純資産の部合計**	1,144,467,150	1,199,665,348	-55,198,198

〔脚注〕1.減価償却費の累計額　1,109,294,283円

資金収支計算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

三谷の里 ときわ苑

（単位:円）

勘定科目			予　算	決　算	差　異
事業活動による収支	収入	措置費収入	442,120,000	442,166,336	46,336
		利用者負担金収入	90,570,000	91,135,883	565,883
		その他の事業収入	7,070,000	7,218,400	148,400
		経常経費寄附金収入	20,000	15,026	-4,974
		受取利息配当金収入	230,000	227,200	-2,800
		受入研修費収入	30,000	43,000	13,000
		雑収入	1,740,000	2,223,497	483,497
		事業活動収入計(1)	541,780,000	543,029,342	1,249,342
	支出	人件費支出	314,780,000	312,679,599	2,100,401
		事業費支出	123,210,000	115,856,419	7,353,581
		事務費支出	52,620,000	46,014,450	6,605,550
		事業活動支出計(2)	490,610,000	474,550,468	16,059,532
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		51,170,000	68,478,874	17,308,874

勘定科目			予　算	決　算	差　異
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0
		施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出	固定資産取得支出	40,080,000	39,092,480	987,520
		ファイナンス・リース債務の返済支出	1,670,000	1,663,200	6,800
		施設整備等支出計(5)	41,750,000	40,755,680	994,320
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-41,750,000	-40,755,680	994,320
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	0	0
		その他の活動収入計(7)	0	0	0
	支出	積立資産支出	20,000,000	20,000,000	0
		拠点区分間繰入金支出	870,000	870,000	0
		その他の活動支出計(8)	20,870,000	20,870,000	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-20,870,000	-20,870,000	0
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)			-11,450,000	6,853,194	18,303,194
前期末支払資金残高(11)			106,656,771	106,656,771	0
当期末支払資金残高(10)+(11)			95,206,771	113,509,965	18,303,194

事業活動収支計算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

三谷の里 ときわ苑

（単位:円）

勘定科目			本年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部	収益	措置費収益	442,166,336	420,516,414	21,649,922
		利用者負担金収益	91,135,883	89,320,442	1,815,441
		その他の事業収益	7,218,400	2,129,122	5,089,278
		経常経費寄附金収益	15,026	30,000	-14,974
		雑収益	2,223,497	1,972,054	251,443
		サービス活動収益計(1)	542,759,142	513,968,032	28,791,110
	費用	人件費	314,915,599	309,234,238	5,681,361
		事業費	115,856,419	121,016,538	-5,160,119
		事務費	46,014,450	45,241,002	773,448
		減価償却費	37,832,849	35,577,367	2,255,482
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-23,386,498	-20,079,031	-3,307,467
		徴収不能引当金繰入	0	0	0
		サービス活動費用計(2)	491,232,819	490,990,114	242,705
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		51,526,323	22,977,918	28,548,405
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	227,200	161,283	65,917
		受入研修費収益	43,000	48,000	-5,000
		サービス活動外収益計(4)	270,200	209,283	60,917
	費用	支払利息	0	0	0
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		270,200	209,283	60,917
経常増減差額(7)=(3)+(6)			51,796,523	23,187,201	28,609,322
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	65,175,000	-65,175,000
		特別収益計(8)	0	65,175,000	-65,175,000
	費用	固定資産売却損・処分損	34	10,359,877	-10,359,843
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	65,175,000	-65,175,000
		拠点区分間繰入金費用	870,000	870,000	0
		特別費用計(9)	870,034	76,404,877	-75,534,843
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		-870,034	-11,229,877	10,359,843
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			50,926,489	11,957,324	38,969,165
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		145,651,476	133,694,152	11,957,324
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		196,577,965	145,651,476	50,926,489
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	基本金組入額(15)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(16)		0	0	0
	その他の積立金積立額(17)		20,000,000	0	20,000,000
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)			176,577,965	145,651,476	30,926,489

令和7年度　苦情・要望受付報告

令和7年度の苦情受付は図1表のとおり6件となりました。いずれも職員の接遇に関する内容で、「シーツ交換の行為が乱暴」「忙しいから早くしてと急かされた」「車いすの操作が怖い」などの声が寄せられました。解決に際しては、該当する職員に対して指導するだけでなく、一定期間改善がみられるか経過期間を設けて解決するようにしています。苦情受付がサービスの質向上につながるよう、今後も計画的に研修や研鑽の機会も設けて取り組んでいきたいと思います。

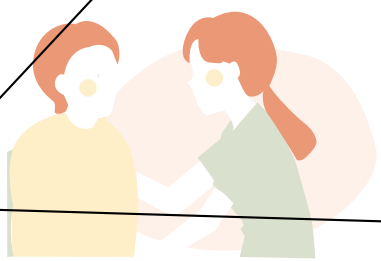
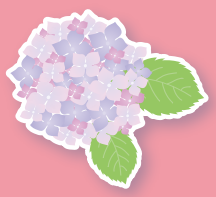


図1表【令和7年4月1日～令和8年3月31日】

分類	件数	割合
A 日常生活	0	0%
B 日課	0	0%
C ケア	0	0%
D 食事	0	0%
E 診療	0	0%
F 利用者間	0	0%
G 金品	0	0%
H 職員の接遇	6	100%
I 相談	0	0%
J 設備・空間	0	0%
K 制度	0	0%
L その他	0	0%
合計	6	100%























踊りも最高！

三谷営農組合との連携について（就労支援活動）

三谷の里ときわ苑の名称の由来でもある三谷地区。金沢市内北部の山間部に位置する当地は過疎化が進んでいますが、地域活動はとても盛んで熱心な方が多くおられます。ときわ苑では、これまでJAアグリセンターと連携し、就労支援を行ってきましたが、令和8年度からは“三谷営農組合”が地域住民主導で発足し、この三谷地区の将来を見据えた活動に、ときわ苑も参画することになりました。写真は酒米の田植えを関係各位にお披露目した際の様子です。今後、利用者が農作業に従事する様子もお知らせできればと思っていますので、次回以降にご期待ください。

